静岡県精神保健福祉協会

News Letter -No.20-

巻頭言

「突風」に吹き飛ばされないように

静岡県精神保健福祉協会　常務理事
奥津　匡俊（静岡県老人福祉施設協議会　副会長）

我が国は本格的な少子高齢構造に突入し、従前の社会保障や国家システムの再編が加速します。一方、産業革命をしのぐ規模と速さの技術革新が、社会を激変させ、私たちの生活を一変させます。

人口減少と労働力不足による経済収縮と失速を避けるべく、アベノミクスの成長戦略は公共政策の骨子に、生産性革命でGDP600兆円・子育て支援で出生率1.8人・高齢者の積極雇用で介護離職ゼロという新たな「３本の矢」を示し、社会保障を軸に成長と分配の経済の好循環を目指して、異例の速さで政策が推進されます。

福祉関係者としての懸念は、激変の時代に社会的な弱者が、更なる格差と新たなギャップを深刻化させることです。

今でも、障害の有無やライフステージにかかわらず、福祉サービスの利用者やご家族で、深刻な精神的な閉塞や苦悩に陥り、更には経済的破綻で生活困窮する方が居ります。

誰でも、生涯の各ステージで生活環境の変化を体験し、家族や近隣・学校・職場の人間関係や葛藤などで、自分自身の肯定的な感情や意味・居場所を見失い、容易に克服できないストレスに、心の健康を害することがあります。

社会全体が激変する時代では、障害者や高齢者の生活、介護や保育・子育てのご家族が、従前の期待される家族機能を低下させ、支援や援助の関係者も含めて、大勢の人々が精神や日常生活上の困難、ストレスや疾病等で深刻な状況に陥ることが心配されます。

地域社会全体で予防的な取組が重要で、特に精神保健と医療・福祉・教育が連携して、積極的に予防と啓発に当たる必要があります。

家族や近隣の仲間たちと、安心できる「居場所」や「よりよい関係」が作れるように、幼い頃からコミュニケーション能力や対人行動のスキルを育む教育や、困難に遭遇しても、自我や社会性の回復を支援できる地域のセーフティネットが大切だと考えます。

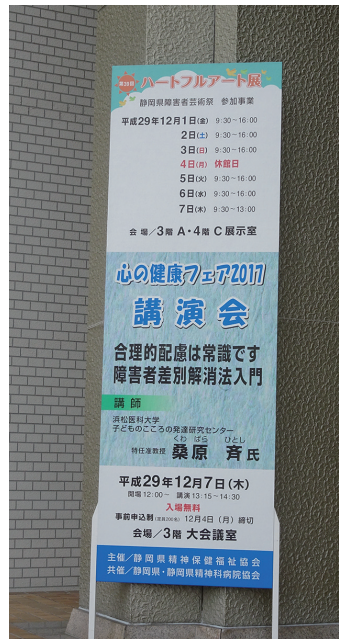
皆様とご一緒に、地域の活動に協力できれば幸いです。

心の健康フェア 2017 開催

『心の健康フェア２０１７』が、平成 29 年 12 月１日（金）から 12 月７日（木）まで、静岡市民文化会館にて開催されました。「第 39 回ハートフルアート展」と「講演会」が行われ、県内の病院・施設の方々や一般の県民の方々など多くの皆様に参加していただきました。

講師　浜松医科大学
子どものこころの発達研究センター
特任准教授　桑原斉 氏

今回は、浜松医科大学　子どものこころの発達研究センター特任准教授　桑原斉 氏による「合理的配慮は常識です：障害者差別解消法入門」と題した講演会を開催しました。



講演会には、140 人の方々のご参加をいただきました。

平成 28 年 4 月に施行された「障害者差別解消法」について、関心をお持ちの方も多く、精神障害に関わる方々だけでなく、他の障害に関わる方々も大勢聴講されました。

合理的配慮は、社会モデルが強調されていますが、機能障害の改善もなされるべきで、その上で必要な環境調整が行われることが大切であるということ。また、インクルージョン教育と言われますが、多様な選択肢から教育の現場を選択できることが大切で、負荷の高い環境においては、職務のデザインを変える必要があるということなど、「障害者差別解消法」を分かりやすく理解できるお話を聴くことができました。

講演終了後には、参加者の質問に丁寧に対応していただき、障害を持つ子どもや、コミュニケーションに障害を持つ方においては、代弁者を付ける環境調整を求めていくことが大切だと分かりました。

なお、今回は身体障害、聴覚障害をお持ちの方々のご参加に対応し、車椅子席の設置や、手話通訳者、ヒアリングループ及び要約筆記者の配置等を、静岡県聴覚障害者情報センターのご協力で行うことができました。

『心の健康フェア』が、県民の皆様の精神疾患や障害についての正しい知識・理解を深める機会になり、誰もが生き生きと生活できる地域づくりの一助となれば幸いです。

ハートフルアート展

静岡市民文化会館(３階Ａ展示室・４階Ｃ展示室)を会場に、12月1日から7日まで、ハートフルアート展が開催されました。ご来場者は延べ342人に上り、会場が広くゆったりと見学できたと好評でした。

病院・クリニック・支援センター等15団体が、手芸品や絵画などの作品を出展しました。個人の部では、7点の力作の出展がありました。

ご来場の方々に、団体の部、個人の部の気に入った作品へそれぞれ1票ずつ投票していただき、最終日には高得票団体と個人への授賞式を行いました。

＜参加団体＞
- 大富士病院
- 菊川市立総合病院
- 静岡市支援センターなごやか
- 清水駿府病院
- 新清水クリニックデイケア
- 第一駿府病院
- 地域生活支援センターおさだ
- 日本平病院
- 藤枝駿府病院
- 富士心身リハビリテーション研究所附属病院
- 溝口病院
- 南富士病院
- 焼津病院
- 聖隷厚生園　ナルド（個人作品のみ）
- 鷹岡病院（個人作品のみ）

第39回ハートフルアート展　受賞団体

「最優秀賞」　焼津病院

「協会長賞」　新清水クリニックデイケア

「特別賞」　富士心身リハビリテーション研究所附属病院

個人部門　「優秀賞」　清水駿府病院　富士山

こころの健康づくり講演会のご案内

精神保健福祉協会では、地域精神保健福祉思想の普及、及びその啓発を図り、県民の精神保健福祉の向上に資するため、適当と認めた団体に対し、こころの健康づくり講演会開催の支援を行っています。2団体については、ニュースレターNo.19で紹介しています。今回は、その後に開催された講演会と、2月以降に開催予定の講演会をご紹介します。

★ちゃんと知りたい！大人の発達障害
講師　小笠病院院長　鈴木勝昭　氏
◆平成 29 年 8 月 27 日（日）菊川市総合保健福祉センター　プラザけやき
主催者：菊川精神保健福祉ボランティア　あしたばの会
＜講演会の様子＞
定員を上回る 98 人の参加があり、地域住民の参加が多かったことから、大人の発達障害に対する関心の高まりを感じました。発達障害の方は少数派ゆえに定型発達の人達に理解されにくく、生活の困難さにつながっているため、周囲の理解を広げ深めることが大切で、社会適応できるようになるためには条件が必要であり、放置は最も避けたい対応とのお話でした。

★快眠セルフケア～こころを休める眠りの秘訣～
講師　豊橋メイツ睡眠障害治療クリニック医師　新島邦行　氏
◆平成 29 年 9 月 10 日（日）菊川市総合保健福祉センター　プラザけやき
主催者：菊川市　健康づくり課
＜講演会の様子＞
こころの健康づくりのためには、十分な睡眠が重要であることは、もちろん、食事や規則正しい生活もとても大切だということが分かりました。「生活にメリハリをつけたい」「小さなことに満足するよう心掛けたい」などの感想が聞かれました。

★こころの傾向を知ろう
講師　臨床心理士　八木阿紀　氏
◆平成 29 年 10 月 26 日（木）　三島市立保健センター
主催者：三島市　健康づくり課　保健委員会
＜講演会の様子＞
「エゴグラムを用いた自己分析は、これまで機会がなかったので、自分に足りない部分と、そこを伸ばす方法が分かってよかった」「今後のコミュニケーションづくりに役立てたいと思う」等の感想が聞かれました。

★～誰も自殺に追い込まれることのない焼津市へ～
身近な人と支え合い心豊かに生きる知恵
講師　僧侶・産業カウンセラー　三橋尚伸　氏
◆平成 29 年 10 月 26 日（木）　焼津文化会館
主催者：焼津市　地域福祉課
＜講演会の様子＞
参加者 235 人のうち、60 代 34.7%、50 代 26.7% と、期待した壮年層の参加を得られました。うつ状態の人の感じ方やその人への接し方などについて、具体的なお話を聴き、うつ病の理解につながったという感想が多かったです。

★ストレスやうつ病について

講師　浜松市精神保健福祉センター所長　二宮貴至　氏

◆平成 29 年 11 月 15 日（水）森町保健福祉センター

主催者：森町役場　保健福祉課

＜講演会の様子＞

うつ病予防という観点からストレスとの付き合い方についてのお話で、とても分かりやすいと好評でした。ストレス予防の呼吸法を教えていただき、普段の生活の中に取り入れたいという感想が聞かれました。

★精神障害者が働くということ

講師　ＮＰＯ法人障害者生活支援センターおのころ島理事長　井出一史　氏

地域活動センターりんりん施設長　児玉朋己　氏

◆平成 29 年 11 月 29 日（水）藤枝市役所

主催者：藤枝市　自立支援課

＜講演会の様子＞

「精神障害者を取り巻く環境や制度について」「精神障害を持ちながら就労する体験について」の講演で「精神障害者が働くためには周囲の理解が必要だ」「自分も何か貢献できるようになりたい」等の感想が聞かれました。

★こころの健康と免疫学

講師　東京医科歯科大学名誉教授　藤田紘一郎　氏

◆平成 29 年 11 月 29 日（水）裾野市生涯学習センター

主催者：裾野市　健康推進課

＜講演会の様子＞

こころの健康と免疫の関係やこころの健康を保つ方法についてのお話で「笑うことで免疫を上げるということが理解できた」「お話が楽しく分かりやすかった」等の感想が聞かれ、多くの学びを得ることができました。

★地域で心の健康づくりを進める講演会

講師　エムオーエー奥熱海クリニック院長　佐久間哲也　氏

◆平成 30 年 1 月 18 日（木）韮山時代劇場　映像ホール

主催者：伊豆の国市精神保健福祉会

＜講演会の様子＞

実体験を踏まえた具体的なお話で、地域の理解と援助を得るためのネットワークが必要であると感じました。今後の活動へつながる講演会でした。

２月以降　開催予定の講演会

開催日	会場	テーマ・講師	主催団体
2月27日(火)	掛川市総合福祉センター あいりーな	考え方をリフレーミング！ 見方を変えて、味方になろう 精神保健福祉士　八木光春　氏	掛川小笠地区 精神保健福祉会 ひまわり会

受章（受賞）者の紹介

静岡県精神保健福祉協会の推薦により受章及び受賞された方々をご紹介します。

溝口病院　理事長
溝口　明範　氏

叙　勲　受　章

溝口病院理事長の溝口明範氏が平成 29 年 11 月 8 日、厚生労働省において、平成 29 年秋の叙勲、瑞宝小綬章を受章されました。その後、皇居宮殿「春秋の間」にて天皇陛下に拝謁されました。

溝口理事長は多年にわたり精神科病院長として、また静岡県精神科病院協会長として、地域の精神科医療の向上に貢献されました。併せて、各種審議会等の委員、及び会長、静岡県更生保護協会理事長、各種民間団体の役職等、数多くの役職を務められ、多くの功績を残されました。これら長年の功労が認められ勲章が授与されました。おめでとうございます。

伊豆の国市役所伊豆長岡庁舎で
市長に受賞の報告をされる
森野　功　氏

厚生労働大臣表彰

第 65 精神保健福祉全国大会（滋賀県大津市びわ湖大津プリンスホテル）において、「平成 29 年度精神保健福祉事業功労者の厚生労働大臣表彰」授賞式が行われました。

静岡県精神保健福祉会連合会の森野功氏が多年の功績を認められ、受賞されました。おめでとうございます。

おしらせ

静岡県精神保健福祉協会平成30年度総会について
日時：平成30年6月13日（水）
会場：静岡県男女共同参画センター　あざれあ
　　大ホール
記念講演会・知事表彰・協会長表彰の授賞式
同時開催予定

静岡県精神保健福祉協会

〒422 - 8031
静岡市駿河区有明町2－20
県総合庁舎別館4階
TEL&FAX 054-202-1220
E-mail　sizuoka_seisin @ybb.ne.jp
事務局出勤日（月・水・金 9時～16時）

ホームページは
こちらから
▼

【当協会の活動に御賛同いただいている　会員企業様】（敬称略・順不同）
静岡銀行・浜松信用金庫・島田信用金庫・（株）Ｊ－オイルミルズ静岡工場・静岡県百貨店協会・（有）サカエ印刷